

2016 年度環境会計データ

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン 2012 年版」を参考に 2016 年度の環境会計データを集計しました。

2016 年度は、冷却水クーリングタワー更新工事、冷却ポンプ更新工事などのコストが大きな割合を占めました。

(単位：百万円)

分 類		取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内 コスト	公害防止コスト	冷温水溝改修工事、集塵機の点検・修理、油分拡散防止対策工事（1期・2期）、設備・U字溝解体撤去工事、油水分離槽・点検清掃、コンプレッサーの点検・修理、A重油配管更新など	—	153.1
	地球環境保全コスト	運転冷却水クーリングタワー更新工事、冷却ポンプ更新、電気炉のメンテ・修理、GFMチップコンベアー改造工事、電力見える化工事（5期）、連接棒ライントップライト試験施工、工場棟空調 冷温水発生機 冷却水配管内部洗浄など	68.1	61.4
	資源循環コスト	廃棄物定期処理など	—	46.3
上・下流 コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	—	—	—
管理活動 コスト	環境情報取得、環境負荷監視及び事業所内美化	EMS認証取得、サーベランス、騒音、水質等環境測定など	—	25.8
研究開発 コスト	環境保全製品の研究開発及び製造段階における環境負荷抑制	船用ディーゼルエンジン排ガス規制対応研究など	—	2,110
合 計			68.1	2,335.2

環境保全対策による経済効果		売却量 (t)	売却額 (百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	1,300	12.9
有価物等の売却額②	木材、ダンボール、油性廃油	143.7	0.5